

演題

シンプルな積層充填で行う、自然感のある前歯部ダイレクトボンディング

大谷一紀 東京都開業

抄録

現代のコンポジットレジン修復（以下、CR修復）には2つの役割があると考えられる。まずは、MIの概念に則ったカリオロジー的側面における役割があげられる。CR修復は不可逆的なう蝕に対する第一の処置であり、これによって(1)健全歯質の可及的な保存が可能であり、(2)歯髄への刺激を軽減できることなどから、結果として「歯の延命」が可能になると考えている。

次に、審美・機能性回復の役割がある。コンポジットレジンの性能が進化した現在では、CR修復であっても形態・色・表面性状を調和させることで自然感の高い修復が可能であり、保険診療だけでなく自費診療で行うこともある。

本セミナーでは、上顎中切歯の充填模型を使用し、ハンズオンを通じて形態修正の術式、色を調和させるための積層充填、表面性状のコントロール法について習得していただきます。

<ハンズオン内容>

ファインコースダイヤモンドバーとディスクタイプ研削器具による形態修正
積層充填による明度コントロール
表面性状の付与と研磨法

略歴

1997年 日本大学歯学部卒業

1997年 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座

2012年 大谷歯科クリニック院長

歯学博士

日本補綴歯科学会指導医

日本歯科理工学会会員